

2018年度 建国幼稚園 重点目標

1. 遊びを通して学び、生きる力を育てる

- 幼児が主体的、自発的に考え、決めて遊ぶことができるような環境を整える
- グループ活動、縦割り活動により、互いに思いやり、助け合い、話し合いながら協力して活動する力を育てる。
- 年齢に応じた環境設定や教材を工夫する。
- 小学校と連携した交流を通じ、学校生活にスムーズになじめるよう取り組む。
- 散歩、飼育、栽培などの活動を通して、身近な自然と関わる。

2. 基本的な生活習慣を身に付け、健康な体を作る

- すすんで挨拶する姿勢を育てる。
- 着替え、荷物の整頓、排泄等、身の回りの事が自分でできるようにする。
- 食事のマナーを身につけると共に、好き嫌いなく食べる習慣をつける。
- リズム運動や体操教室、外遊び、散歩などで、健康で丈夫な体をつくる。
- 家庭と連携し健康で、安全な習慣を身に付けるようにする。

3. 自他を尊重し、国際感覚を育てる

- 多様なルーツを持つ園児が互いの違いを認め合い、自他を尊重する心を育てる。
- 韓国語・日本語に英語を加え、日常会話、聞き取りに重点をおいて国際感覚を育てる。
- 一人一人の子どもの良さや力を引き出し、互いの思いを大切にする。
- 子どもが、自分の気持ちを言葉や行動で表現できるようにする。

4. 地域に開かれた園づくりを目指す

- 学校ホームページ、園ブログ、うさぎノートを通して園の情報や活動を発信する。
- 保育参観や行事を通して、園生活の様子を知らせる。
- 地域子育て支援活動として、子育て相談や未就園児親子教室、園庭開放を行い、開かれた園づくりをする。
- 他園との交流を図り、幼児どうしの学び、教員どうしの教育研究を深める。

2018年度建国幼稚園 学校評価保護者アンケート(保護者・教員)

A:よくあてはまる B:ややあてはまる C:あまりあてはまらない D:まったくあてはまらない

実施2019年1月

番号	設 問	保護者集計結果						教師アンケート	
		A	B	C	D	A+B	C+D	A+B	C+D
1	연령에 맞는 환경을 조성하며, 연령에 맞는 교재를 만들거나 쓰고 있다. 年齢に応じた環境設定や教材を工夫している。	52	42	3	3	94	6	100	0
2	그룹 활동이나 다른 반과의 합동 활동을 도입하여, 서로 배려하고 도우며 활동하도록 지도하고 있다. グループ活動や縦わり活動を導入し、互いに思いやり助け合いながら活動するよう指導している。	83	14	3	0	97	3	100	0
3	어린이의 주체성을 중시하여 자발적으로 활동할 수 있도록 지도하고 있다. 子どもの主体性を大切に自発的に活動できるよう指導している。	76	21	3	0	97	3	100	0
4	초등학교와 제휴한 교류 행사를 실시하고 있다. 小学校と連携した交流行事を行っている。	55	28	17	0	83	17	57	43
5	산책, 사육, 재배 등의 활동을 통해 주변 자연 환경을 접하게 하고 있다. 散歩、飼育、栽培などの活動を通して身近な自然と関わるようにしている。	79	17	4	0	96	4	86	14
6	자발적으로 인사하는 습관을 갖도록 지도하고 있다. 自らすすんで挨拶をする習慣をつけるよう指導している。	55	34	11	0	89	11	100	0
7	옷 갈아입기, 정리정돈, 배변 등 기본적인 일은 스스로 할 수 있도록 지도하고 있다. 着替え、荷物の整頓、排泄等、身の回りの事は自分でできるよう指導している。	83	14	3	0	97	3	100	0
8	식사 예절을 익히고 음식을 골고루 먹을 수 있도록 지도하고 있다. 食事のマナーを身につけ、好き嫌いなく食べるよう指導している。	76	21	3	0	97	3	100	0
9	리듬운동이나 체조교실, 뛰어놀기, 산책 등으로 튼튼한 몸을 만들고 있다. リズム運動や体操教室、外遊び、散歩などで、健康で丈夫な体づくりをしている。	83	14	3	0	97	3	100	0
10	유치원과 가정이 제휴하여, 식사, 건강, 안전면 등에서 좋은 습관을 갖도록 하고 있다. 園と家庭とで連携して、食事、健康、安全面などで良い習慣を身に付けられている。	55	38	7	0	93	7	100	0
11	다양한 배경을 가진 어린이들이 자존감을 가지고, 타인을 배려하는 마음을 기르도록 지도하고 있다. 多様なルーツをもつ子どもたちが自尊感情をもち他者を思いやる心が育つよう指導している。	55	41	4	0	96	4	100	0
12	한국어·일본어를 많이 접하고 영어와도 친숙해 지는 등 국제적 감각이 풍부한 보육 환경이다. 韓国語・日本語にたくさん触れ、英語にも親しむなど国際感覚豊かな保育環境である。	52	42	3	3	94	6	100	0
13	예절, 유치원 생활 및 민족 행사를 통하여 한국의 문화를 접하고 있다. 挨拶や園生活、また行事を通して、韓国の文化に触れている。	79	17	4	0	96	4	100	0
14	어린이 각자가 가진 장점이거나 능력을 끌어낼 수 있도록 지도하고 있다. 一人一人の子ども良さや力を引き出すように指導している。	59	35	3	3	94	6	100	0
15	원아가 자신의 생각을 말과 행동으로 표현할 수 있도록 지도 하고 있다. 子どもが、自分の気持ちを言葉や行動で表現できるように指導している。	62	34	0	4	96	4	100	0
16	학교 홈페이지, 유치원 블로그를 통하여 늘 새로운 정보나 활동 내용을 알리고 있다. 学校ホームページ、園ブログを通して常に新しい情報や日々の活動を発信している。	48	46	3	3	94	6	100	0
17	보육 참관이나 행사를 통해, 유치원의 생활 모습을 보호자와 지역사회에 알리고 있다. 保育参観や行事を通して、園生活の様子を保護者や地域に知らせている。	69	24	7	0	93	7	100	0
18	미취원아교실(병아리)을 통해 지역에 대한 정보 제공 및 육아지원에 힘 쓰고 있다. 未就園児教室(びょうあり)を通して地域への情報発信や子育て支援に努めている	69	28	3	0	97	3	100	0
19	방범 카메라 등의 설비나 피난 훈련 등을 통해 어린이들의 안전이 지켜지고 있다고 느낀다. 防犯カメラ等の設備や避難訓練等を通じて子どもたちの安全が守られていると感じる。	42	48	10	0	90	10	100	0
20	학부모가 자녀 문제로 고민할 때, 보육교사와 상담하기 쉬운 분위기이다. 保護者が子どもの事で困ったとき、保育士に相談しやすい雰囲気がある。	72	22	3	3	94	6	100	0

2018年度 学校評価アンケート 教員自己評価

2019年3月5日

建国幼稚園

2018年度、建国幼稚園「学校評価アンケート」について、ご協力ありがとうございました。

本園では来年度、認定こども園に移行するにあたり、建国独自の環境を生かし「豊かな語学環境、多文化共生を通し、言葉を超えて人と関わる力を養う」ことのできる幼稚園を見据えて教育活動を行ってきました。「知・徳・体」のバランスの取れた子どもたちの成長を願い、今年度の重点目標に照らしたアンケートの結果をもとに、教員自己評価を行いました。ご参照ください。

(1) 遊びを通して学び、生きる力を育てる (アンケート No.1~5)

年齢に応じた環境設定や教材を工夫することは、日ごろ教員が心を砕いて取り組んでいるところです。特に今年はNPO法人IPPOさんの協力を得た共同研究事業を行い、いろんな制作活動にもチャレンジし、新しい可能性を感じました。子ども達が縦割り活動やグループ活動、体験、行事を通して、助け合ったり、自発的にしようとする事で達成感や充実感を得て、それらが成長につながっているということに保護者の皆さんからも高い評価をいただきました。

同じく高い評価を得た「身近な自然に親しみ、野菜畑や、園内での飼育、栽培活動で命の大切さに気づき、いたわる心、慈しみ、協力する心を育てる活動」や「子どもたちの主体性を大切に」「考え、話し合い、実行」することは、これからも継続、発展させていきたいと思えます。

小学校との交流活動では、オリニチュッチェ(子ども祭り)にむけて民族遊びを教えてもらったり、お正月のあいさつや遊びを習ったり、年長のケナリ班をはじめ園児全体を対象に行いましたが、高い評価は頂いているものの、もう少し研究の余地があると考えます。就学へのサポートも含め、更に充実した交流ができるよう、連携していきたいと思えます。

(2) 基本的な生活習慣や食習慣を身に付け、丈夫な体を作る

(アンケート No.6~10)

園では「自らすすんで挨拶する」「着替え、整頓、排泄等、身の回りの事の自立」「食事のマナーや、好き嫌いをなくす」など、生活面で良い習慣を身につけられるよう、家庭と連携して取り組んでいます。これらを含め、「身体づくり」で高い評価を得たリズム運動は今年特に教員全員で研究を深めたもので、一つ一つの動きが子どもたちの身体作りに持つ意味を考え、丁寧な指導を心がけました。体操教室、外遊び、広い運動場を使っでの運動に加えボルタリングを設置し、手足の力、体幹の強化に楽しく取り組みました。

また、お友だちや先生、大人の方々へ「自分から進んで挨拶する」ことについて、比較的よい評価ではありましたが、挨拶をする楽しさ、受ける喜びへの気づきを日々の指導から伝え、ご家庭と連携しながらさらに取り組んでいきたいと思えます。

(3) 自尊感情を高め、人とかかわる力を育てる (アンケート No.11~15)

こちらの項目でも高い評価をいただきました。園では韓国語、日本語、英語という多言語の環境の中で育つ子どもたちが、言葉の違い、お互いの違い(多文化)を「あたりまえ」のことと自然に理解し、「相手を思いやる気持ち」「自分を大切に思う気持ち」を大切にできる保育環境や取り組みを大切に考えています。

挨拶や生活用語は韓国語、日常会話は韓国語、日本語を50%くらいの割合で使うようにしていますが、今年は設定保育が始まる前の朝の時間に「英語で遊ぶ」時間を新たに作りました。歌ったり、カード遊びをしたり、体で表現したり、大きな声で発音したりと、楽しみながら取り組んでいます。朝の会や終わりの会での歌や手遊び、読み聞かせ、また保育の中での韓国語の時間、英語の時間、舞踊の時間なども安定した取り組みとなっています。

これから韓国や日本、世界の国々の文化も合わせ、よりよい形でお友達と関わる心を育てていきたいと思えます。

(4) 地域に開かれた園づくり (アンケート No.16~20)

昨年に比べ、これらの項目についての評価はより改善が見られたと思えます。

教育方針、活動の様子や行事のお知らせなど、より周知徹底、充実するよう、プリントや通信、ブログ、ホームページを通じて取り組んでいます。特に「ブログの発信回数」を増やすことや「スタディサプリ」による情報発信は教員全員で続けて取り組んできました。

地域への発信では、住吉区の「すみちゃん子育てネット」などを通して、未就園児教室「ぴよんあり」への参加者が倍増、子育て保育の支援活動が定着してきたように思えます。

住吉区のシルバー人材ボランティアのおじいさん、おばあさんに花の苗をいただき、お花の植え方を教えてもらうことや、1年に2回、読み聞かせをしていただくことも定着してきました。今年度は、第2回キッズフェスタも開催し、たくさんの方に来園していただきました。来年度も地域に開かれた幼稚園を目指したいと思います。

また新しい一年に向け、教員一同さらに研究・研鑽を積んでいきます。

保護者のみなさまのご理解・ご協力をよろしくお願い致します。

2019年3月16日

学校法人 白頭学院 理事会・評議会 貴中

2018年度 建国幼稚園 学校関係者評価

建国幼稚園学校関係者評価委員会

★保護者アンケートの結果をもとに行った教員自己評価について「学校関係者評価」を行いました。

学校関係者評価委員（5名）：金秀子 副園長 康龍江 主任
李賢珠 PTA会長 李慧林 PTA副会長 金亨京 保護者代表

実施日：2019年3月16日 場所：白頭学院 会議室

○項目別評価について

1 活動面

子どもたちが興味・関心をもつ環境設定や材料を工夫し、子どもたちの気持ちに添いながら助言、指導し、色んな制作活動に取り組もうという先生方の意気込みを感じました。

行事ごとに、子どもたちが主体的、積極的に参加する姿が見えるようになったと思います。

また、保育室での飼育、園庭での栽培活動などを通して、生き物や食べ物を育てる大切さを身近に感じ学ぶことで心身の成長を感じました。

幼稚園期における文字の学習等の話もありましたが、小学校の先生と話し合い、小学校の授業との連携を考えながら遊びの中で文字や数字などの学びをしているという事を確認しました。

朝の「英語で遊ぶ」時間ができ、実生活で子供たちが英語を発言したりと成果が見え、親からも高評価を得ていることをお伝えしました。

またリズム運動を通して小学校に上がって授業中に座ってられる体幹を鍛えているということも確認しました。就学へのサポートも含め、更に充実した交流ができるよう小学校との連携を図って下さるそうです。

2 生活面

園庭で子供たちが自ら栽培した野菜を使ってシンプルな味付けで自分たちで料理し嫌いだった野菜も食べられるようになったり、健康に育つ基礎を養っていました。

衛生面でも先生方の徹底的な指導管理のもと、手洗いなど自ら進んでしっかりするよう指導されていました。

3 人権面

一人一人の子どもたちを良く理解し指導して頂くことで、自分の大切さ、友だちの大切さを知ることができました。また縦割り活動を通して、年下を思いやる気持ちやまわりに気付く力、聞く力が身につけているようです。そして年下の子供たちは年上の子供を見習いたいという気持ちになったり、言葉の数が増えたりしているようです。

韓国語の言葉に関する教育がどのようになされているのかお聞きし、遊びを通して文字に慣らせたり、楽しく身に付けられるよう指導しているという事を確認しました。また韓国の伝統遊びを小学生と一緒に取り組んだり、お正月の挨拶の仕方などに触れていることも確認しました。

グループ活動などを通して、複数の仲間と関わることにより励ましあったり、見習ったり、達成感を味わったりと良い成果が見られているようです。

4 地域連携

今年も引き続きうさぎノート（スタディサプリ）を活用し、園での様子や災害時の連絡をしてくださるそうです。情報発信の回数はクラスによってバラつきはありますが、より充実できるよう取り組んでくださるそうです。

未就園児親子教室「びよんあり」が好評であり、定員オーバーになることもあったそうです。これを通して園児募集にも大きな効果があるという観点から、ブログの発信回数を増やしていけるよう取り組んできようです。

住吉区のシルバー人材ボランティアの方々と年2回苗植えと絵本の読み聞かせを行っていることを確認しました。何でも一生懸命に取り組み、しっかり座って絵本を聞き、反応する子供たちを見てボランティアの方たちに子供たちも好評価を頂いているようです。

○全体のまとめ

昨年に比べて園児が少し少ないですが、このように保護者アンケートで高評価を得ることができたのは、先生方の惜しみない努力があるからだと思えます。

また今年からは認定こども園になるので、新しい先生も増え、先生たちも決められた時間を効率よく交替で保育ができるということでした。

幼稚園の時しかできないことをさせ、リズムや他の活動を通して勉強できる体感や筋肉、聞く力を育て、自分がしたいとことをはっきり発言できる子供に育てる努力をされていました。

しかし、保護者とのコミュニケーションが足りない所もあるのではないかとということで保護者との連携をもう少し図ることを提案しました。

これからも保護者との連携をもとにますます賑やかで楽しい園になることを期待します。